

街の魅力に気づく本「街本」のかわら版



TAKE  
FREE

# JOURNAL

## マチボン

2023 JULY ISSUE

マチボンジャーナル

VOL. 001

愛媛ゆるりずむ。  
粋なライフスタイルペーパーだよ。

【特集】

# 花と緑

はじめまして、マチボンジャーナルです。街の魅力に気づく本「マチボン」のきょうだいメディアとして、フリーペーパー・WEB・SNS・YouTubeとかなんとかでマチボンより更に、暮らしを豊かにする情報をお届けします！さて、話は変わってボタニカルブーム。インテリアなど、もはや定着している感もありますが、お愉しみはそれだけじゃないぜ！特集は楽園を巡る旅を。その他にも愛媛デザイナーズハウスやメディカルレポート、キュレーターたちによる味のあるコラムなど。創刊号は、まずはお試してことで薄ーい。それでも手に取って頂けると幸いですー！

### Contents

- 特集：花と緑 楽園を巡る旅
- 愛媛デザイナーズハウス
- ehime MEDICAL REPORT
- COLUMN

SPC Publishing



花と緑

# 楽園を巡る旅



にいや  
**新谷花菖蒲園**  
閉園した後は、園主の息子さんがハナショウブの販売部門を受け継ぎ、「新谷菖蒲園 菖蒲苗栽培園」として販売用を一部公開している。  
大洲市新谷町甲5 閉園



この辺り  
入り口付近



人がつくりあげたもの、と  
自然がつくりあげたもの。

初夏。幻の楽園。湿気を帯びたふたつの言葉が手ぐさかりに、最初に向かったのは大洲市の「新谷(にいや)花菖蒲園」。2年前に閉園した名園は、肱川水系の矢落(やおち)川沿いにある。建物と植物が溶けあった緑の“城”に近づくと、雑草にまぎれて少しハナショウブが残っていた。ことし92歳になる元園主の八島信治良(しんじろう)さんは今から50年以上前に苗を譲り受け、ハナショウブのおもしろさ、奥深さにのめりこんだ。自宅に無数のデッキをつけ、花を並べて一般開放し、最盛期には約1万本の花群で多くの人を喜ばせた。花に向けられたお客さんの言葉を、自分のことのように喜んでた八島さん。2018年の豪雨被害と高齢を理由に、園を閉じる道を選んだのは無念だっただろう。けれどもこれまで品種改良した中の4品種が日本花菖蒲協会に登録されており、生涯かけた情熱と功績は残りつづける。

見上げれば、強気の日差し。夏らしい楽園を求めて西予市三瓶にやってきた。須崎海岸に向かう海沿いの道から山を登る。すると、南国風情の大きな葉がわさわさと茂る畑が現れた。ここは愛媛熱帯果樹研究普及会の高野浩幸さんが営むバナナ園。石垣島で南国フルーツをひとかじりし、本当のおいしさを知った高野さんは、12年前から三瓶の山でパイナップル、パッションフルーツなど15種類ほどの熱帯果樹を育てている。「熱帯植物は切った先から伸びるのがわかるほど成長が早い」と高野さん。神秘的で生命力あふれる熱帯果樹の魅力を広めたいと、いまは苗の販売に力を注いでいるようだ。高野さんにすすめられ、もぎたてを食べてみた。ライチに少し似た「ジャボチカバ」は、味覚の引き出しをひとつ、増やしてくれた。

好きなものを知ってほしい、見てほしい。菖蒲園も南国フルーツの農園もピュアな想いが生んだ楽園だった。そんなことを考えながら、次は圧倒的な自然の楽園をめざすことに決めた。神秘的な姿から「神の庭」とも呼ばれる「笹倉(さぞう)湿原」へ。久万高原町の森の中、いくつもの沢を渡る。歩き始めて1時間半、森の暗がりから、ふっと視界が明るくなった。太陽のスポットライトを浴びた濃いグリーン「のじゅうたん」。その正体は、一面の苔。標高1400メートルにある高層の笹倉湿原は、数千年もの時をかけてつくりだされた。近年少しずつ周りを囲う笹が増え、苔が縮小していると聞く。「神の庭」もいつの日か、幻の楽園になってしまうのだろうか。



Avocado  
Dragon fruit  
Pineapple  
Papaya

シヤボチカバ  
フィンガーライム

**B**  
愛媛熱帯果樹  
研究普及会  
YouTubeで果樹の成長や魅力を発信。その効果もあって県内外から、三瓶の園地まで見学者が訪れる。見学者希望者は事前に電話連絡を。  
西予市宇和町伊延西857-1  
☎:080-6385-4586  
YouTube/  
ひろ兄のお笑いアボカドチャンネル  
Instagram/@hi\_ro5374

**G**  
さぞう  
**笹倉湿原**  
雨の日や雨後だと、苔のうつくしさが際立つ。トレッキングに向かう服装で臨んで。森の中は、赤のマーカを頼りに目的地をめざそう。  
上浮穴郡久万高原町若山

本々に  
神様に  
出合えよう



はじまりは、かつて松前町に存在した愛媛亜熱帯植物園。一本のヤシの木に魅せられ、私財を投じて植物園を開園するまでに至った男がいたらしい。エキゾチックでどこか甘美なネーミングの植物園が愛媛に存在したなんて。数年前にすべて伐採されたそう。一度でいいから行ってみたいかった。いや待てよ。他にもこの街には楽園が残っているのでは？ 我々がまだ知らない、楽園を記録として残さねば！それが今回、僕たちが旅に出た理由です。昭和感(開園は平成ですが)が色濃く残る懐かしい植物園から、九龍城を思わせる菖蒲園、石鏡山系の山奥に現れた幻の湿原に、果てはポップアートを思わせるフラワーショップまで。幻想の花と緑の楽園を巡る旅に、ボンゾォーヤージュ!

# 暮らしと植物をつなぐ 山と街の、それは楽園。

花と樹の楽園を探す旅の後半は、暮らしと植物をつなぐ場所をめくりたい。真っ先に思い浮かんだのが、伊予市の「なかやまフラワーハウス」。国道56号から脇道に入り、ぐるんと山を登ると、高さ20メートルもの温室があらわれる。まるで森の中に大きな温室を隠しているかのように突然に。温室の中はさらに異空間。ヤシやブーゲンビリア、マンゴーなど、熱帯の植物がダイナミックに植えられている。気持ちが、晴れる。22年前、旧中山町の農業研究センターとしてオープンしたのがそのはじまり。6年後、田下賢策さんが館長になり改造に乗り出した。「予算がなかったけれど、どうか足運んでくれるような植物園にしたい」。あちこちの植物園を見学し、自分たちの手で植物を植えていった。温室の中にはカフェもあり、地元の人たちはここでお茶をするそうだ。それにしても、山間で巨大な温室を営みながら入館料フリーとは、「人様にお金をいただくほど手を入れられてないので」。誠実な館長の言葉が、やわらかく胸に届く。温室に流れる平和な空気は植物だけではなく、営む人の気持ちもきっと乗せている。

山中の楽園を後に、街中の楽園を求めてグリーンショップとフラワーショップの名店を訪ねた。松山市の「MEIJIEN」(めいじえん)は、クールな三角屋根が目印。細いアプローチを進むと、奥に大きな温室がある。吊るすものから、ぐんと見上げる高いものまで、いろんな観葉植物が生きている。5代目の和泉光浩さんは、植木屋からスタートした100年以上つづく家業を引き継ぎ、観葉植物の店にした。沖縄や静岡など生産者の元にも足を運ぶ、愛媛のグリーン界のバイオニア。彼の元で育つ緑は生命力があり姿もいい。選ばれる、緑の楽園だ。

最後に訪れたのは、宇和島市の和霊神社近くにある「Flower shop Poppy」。吉田町の商店街にあった生花店を移転し、二宮祐介さんと志乃さん夫妻が切り盛りする。庭にある桜の巨木を囲むようにベンチがある。店全体がアートのようなハイセンスな空間なのに、だれにとっても心地よく、ひらかれている。Poppyは、みんなの楽園。幸せそうな顔をした「カラジウム」を手にとった。楽園のかけらを、旅の思い出に持ち帰ろう。



南国の植物に  
お会いしたい

## なかやまフラワーハウス

主に多肉植物を販売している。館長、スタッフで育てた多肉植物はめずらしい品種も多い。「植緑祭」をはじめ、イベントも開催している。

伊予市中山町中山成723  
☎: 089-967-5020  
休: 月曜休※月曜が祝祭日の場合はその翌日  
営: 9:00~16:00 駐車場: 有



自分のお家にも  
取りたい  
グリーンショップ



## E MEIJIEN

店舗や企業などからのオーダーが多く、取材日も新規オープンのオーナーが店舗の植物の相談に来ていた。一般の方の購入ももちろん可能。

松山市此花町8-15 ☎: 089-921-0077  
休: 11:00~18:00 営: 日・月曜  
駐車場: 有



オリジナルTシャツ  
お任せください



気分に合わせて  
花をセレクト  
してください



奥様のジメジメな  
しっとりとした  
リピーターの  
お任せ



暮らしの楽園

連れて帰りたい  
お任せください

## F Flower shop Poppy

生花、花の苗、観葉植物、多肉植物、ドライフラワーなど多様に扱う。アレンジセンスも秀逸。コーヒーなど、カフェメニューもある。

宇和島市御幸町1-6-11  
☎: 0895-49-9000  
休: 火曜、第3日曜 営: 9:00~18:00  
駐車場: 有



自分らしい住まいを考える暮らしに機能と感性を。

理想の住まいを形にする  
愛媛の気になる住宅デザイナーが建てた  
こだわりのお家をご紹介します。

## ミニマムな3LDKの家には 家族仕様の工夫がいっぱい

コンパクトで南側に隣の家が迫っているという敷地条件を考慮し、地窓や高窓により採光を工夫して明るさを確保した0邸。間取りは1階をパブリック、2階をプライベートとオーソドックスにまとめたが、リビングの一角の階段下スペースにスキップフロア風の畳コーナーを置き、くつろぎのスペースとしながら吹き抜けの開放感も味わえるように工夫。壁や天井はホワイトページュカラーをベースにし、アカシアの無垢材の床が落ち着き感をプラスする。インテリアとともに生活動線、家事動線も施主との話し合いで特徴をもたせた。特に「買い物はできるだけまとめたい」という声に応じて、パントリーは食品のストックを十分に収められるように通常よりボリュームを持たせた。また内部には、簡単な作業ができるようにデスクを造作。アクセサリー作りを趣味とする妻がおこもりできる場所にもなった。アーチ型の垂れ壁、場所ごとに選んだお気に入りの照明器具など愛らしいインテリアが、忙しい日々の癒しになっている。

施主が望んだスキップフロアは階段下のスペースや畳コーナーをアレンジ。高さの違う空間があることで、腰かけたり遊んだりといろいろ



cocochi  
藤岡萬建設 有限会社  
一級建築士事務所  
DESIGNER  
藤岡貞雄

愛媛県生まれ。大学の教育学部を卒業後、大手ハウスメーカーの営業職として県外で5年間勤務。その後、父が創業した藤岡萬建設(有)にUターン、代表に就任。

cocochi  
藤岡萬建設 有限会社  
一級建築士事務所

東温市田窪332-1  
☎:089-964-3164  
info@cocochi-casa.co.jp

対応エリア: 東予 中予 南予 県外  
対応業務: 注文住宅、店舗・施設、リノベーション  
https://cocochi-casa.co.jp

建築業許可番号/愛媛県知事許可(般-2)第11984号  
宅地建物取引業許可/愛媛県知事(5)第4520号  
一級建築士事務所登録/愛媛県知事登録第3422号



# やさしい木の風合いと、光と風の心地よさを導いて

[ 株式会社 ヒロ建設工業 (HIROKEN) / 織田 誠二 ]



## 変わり続ける家族の暮らしを 受容するおらかな器をつくる

HIROKENで建てた友人の家を訪ねたとき、その快適さを実感。性能や構造にも安心感を抱き、依頼に至ったという施主。家づくりにあたり希望したのは、夫妻と4人の子どもたちがおらかに暮らせる住まい。織田さんは、個室や収納などの必要条件を満たした上で、できる限り明るく開放感のある住空間をデザインした。北西～南東に長い建物の、日当たりが良い南東側にリビングや和室、反対側に水まわりを集約。その中央にキッチン据えることで、最短距離の家事動線を叶えた。リビングの吹き抜けでつながる2階ホールは、多目的に活用できるよう可動式カウンターを造作。奥には独立した書斎も設けている。子どもたちが小さいうちは遊び場として、受験シーズンには勉強部屋として、成長する家族のライフスタイルに呼応する住まいだ。



キッチンの吊り天井やカウンター、棚などの造作は、木の風合いを活かしてナチュラルに。北東の控えめな光が入るカウンターは、植物にもやさしい



株式会社 ヒロ建設工業  
(HIROKEN)  
DESIGNER  
織田 誠二

1974年今治市吉海町出身。建設会社に勤務し、設計・施工を経験。のち、ヒロ建設工業入社。二級建築士、愛媛県木造住宅耐震診断士、整理収納アドバイザー2級。

株式会社 ヒロ建設工業  
(HIROKEN)

松山市余戸中1-1-29(余戸スタジオ)  
☎: 089-904-8007  
orita@hiroken1004.com

対応エリア: **東予 中予 南予** 県外  
対応業務: 高性能住宅・リフォーム・高性能リフォーム、商業施設等の設計・施工・リノベーション

建設業許可番号/愛媛県知事許可(特-2)第15368号  
一級建築士事務所登録/愛媛県知事登録第2564号

● 詳しい情報は  
動画 プロフィール  
コチラから  
  




# chime MEDICAL REPORT

エヒメ メディカルレポート

## 建築と医療が融合した 新しいカタチ

美しさ・快適さだけでなく、私たち患者が健康になるための環境も兼ね備えた、「建築設計にこだわる」クリニックを編集部が厳選してご紹介。  
建築と医療の融合が生み出す新しい形のクリニックについて、その魅力を探ってみましょう。

中庭から光が入るコンサルテーションルーム。院内中央にあるが、待合室や通路よりフロアを下げているので、周りの視線を気にせず落ち着いて相談できる。



1. 植栽が映える外観は凹凸を出して表情豊かに 2. 曲線を描いたソファに腰掛け、患者は豊かな時間を過ごす。奥にはさりげなくキッズスペースを。 3. 素材感のある塗り壁でゆるやかに仕切った半独立の診療室。窓の外の景色にも配慮 4. コンサルテーションルームと診療室をつなぐ中庭



## 歯医者に通うことをポジティブに 患者がリラックスできる場所でありたい。

「歯が痛くなってから治療をしに行く場所」から、「お口の健康を維持するための場所」へ。患者が通いたくなる医院づくりの必要性を感じた大谷院長は、自然との調和を得意とする建築家に依頼、リラックスした空間、時間を提供したいという思いから、森の中のクリニックをテーマに、植物で内と外をつなぐ建築を計画した。院内中央は、天窓から明るい光が差し込むコンサルテーションルーム。院長は、この空間で歯の大切さを丁寧に説明し、患者と対話を重ね、個々の気持ちや事情を汲んだ上で治療を進めていく。診療室は別棟とし、渡り廊下でつなぐなど、緩やかなゾーニングで気兼ねなく過ごせるよう配慮している。院内の心地よさは「待合室で本を読んで過ごしたいから、ちょっと早めに来ます」という患者もいるほど。開業から10年、庭と院内の樹木は豊かに生き茂り、患者に癒しのひとときをもたらしている。

### Profile



DOCTOR  
大谷 淳二 Junji Ohtani

愛媛県松山市出身。2001年愛知学院大学歯学部卒業。04年広島大学大学院医歯薬学総合研究科卒業（歯学博士）。広島大学大学院歯科矯正学講座助教、University of California San Francisco (UCSF) 客員教授を経て2013年大谷歯科矯正歯科開業。日本矯正歯科学会 認定医。

- 好きな音楽/Sara Bareilles ■ 好きなもの/カツカレー
- 好きな時間/新しい場所に行くこと
- 趣味/娘と一緒に犬の散歩

### 教えてDoctor!

Question: 大人になっても矯正はできますか?

Answer: 「歯の根とそれを支える歯ぐきや骨の状態が健康であれば、何歳になっても歯ならびの治療は可能です。ブリッジやインプラントが入っていても、そのスペースをうまく矯正で活用することもできるので、一度お近くのクリニックで相談してみてください」

医療法人丹心会  
大谷 歯科矯正 歯科

松山市和泉南6-2-6  
☎:089-957-3252

診療内容

包括歯科診療 矯正歯科 歯周病治療  
インプラント 審美治療 ホワイトニング

診療時間 月 火 水 木 金 土  
9:00~13:00 ○ ○ ○ / ○ ○  
15:00~19:00 ○ ○ ○ / ○ ※

休診日:水曜・日曜・祝日  
※土曜の午後は14:00~17:00

○  
詳しい情報は  
コチラから

HP



動画



日本一の産地で80余年。  
5代に渡って受け継がれる、  
技と心でつくるみかんジュース。

きらめく宇和海に面して急峻な段々畑が天に至る、愛媛県八幡浜市向灘地区。この地で80余年にわたって、温州みかんの最高峰の産地でみかんをつくり続ける家族がある。代々受け継がれるみかん畑は、品質のよいみかんづくりの条件といわれる3つの太陽、「天の太陽の光」、「海面からの反射光」、「石垣からの反射光」が見事なまでに揃っているが、特に日の出から日の入りまで太陽が降り注ぐ、向灘地区でもごく限られた畑では、甘味と酸味のバランスがすばらしく、とろけるような極上の味わいのみかんが育つという。

歴代の当主がたゆまぬ努力で生みだし、磨き続けてきた。水の管理や土づくり、剪定、摘果などの高度な栽培技術はもちろん、移り変わる時代を見つめ、常に新しいことに挑戦する心も継承してきた。

「祖父の時代は量を求め、父は品質の向上に力を注ぎました」。そう話す5代目が力を入れているのがジュース事業。手搾りに近い製法で、果実部分を搾った果汁と、まるごと搾った果汁の2種類を独自の比率でブレンドしたジュースは、まろやかで風味豊か。フルーツソムリエに「みかんよりみかんの味がする」と言わしめた逸品だ。

平成14年に、高品質でありながら規格外の出荷できないみかんを何とかしたいという想いから生まれたジュースは、今では種類も増え、南予一帯のみかん農家の収入源にもなっている。「うちには、人とのつながりを大切にせよという教えもあります。代々、受け継がれてきたものを次の世代に渡すためにも、地域の皆さんとともに、さまざまなことにチャレンジしたい」。時を越えて変わらぬ海と山の絶景の中、新しい未来が実を結び始めている。



お買い求めは  
こちら



みかんよりみかんの味がする、濱田農園を代表するみかんジュース「きわみ」。他、さまざまな品種のみかんジュースが楽しめる。



濱田農園

愛媛県八幡浜市向灘1938 TEL 0894-22-5083  
http://www.kiwami-mikan.net/



4代目の濱田善純さんと、  
5代目で息子の直人さん



開催期間  
~11.30(木)まで

グルメスタンプラリーで巡る

# 卵卵街道

らんらんかいどう

(愛媛県) (高知県)  
奥伊予・四万十はこのあたり!

まつの産トマトソースと  
野菜のオムハヤシ 1,000円  
道の駅 虹の森公園まつの (松野町)

四万十牛スコッチエッグ  
1,100円  
道の駅 よって西土佐 (四万十市)

温玉のっけ! 城川ベーコン  
カルボナーラ 950円  
道の駅  
きなはい屋しろかわ (西予市)

四万十だし  
玉うな丼  
1,380円  
道の駅  
四万十とおわ (四万十町)

鬼オムカレー  
1,300円  
道の駅 広見森の三角ぼうし (鬼北町)

卵たっぷり赤の他人丼  
950円  
道の駅 日吉夢産地 (鬼北町)

おしどりうな玉丼  
1,300円  
道の駅  
清流の里ひじかわ (大洲市)

スタンプラリーの  
コースは**3つ!**

八駅でオリジナルメニューを食べよう!  
**食べぶらコース**

八駅でオリジナル特産品を買おう!  
**買いぶらコース**

八駅を巡るだけ!  
**タダぶらコース**

**奥伊予・四万十の道の駅八駅のグルメスタンプラリーで**

**総額 20万円の相当 八駅の特産品を当てよう!**

道の駅の楽しみ方は、買物、食べ歩きなど人それぞれ。奥伊予と四万十の八つの駅を満喫していただけるよう、オリジナルメニューを楽しむ「食べぶらコース」のほか、合わせて三つのスタンプラリーのコースをご用意! ぐるりと巡って美味しさゲット! それぞれの楽しみ方を満喫して下さい。

各レストランの営業時間は、お出かけの際には事前にご確認ください。

<p>道の駅 清流の里ひじかわ 営/8:00~18:00 休/無休 ☎0893-34-2700</p>	<p>道の駅 きなはい屋しろかわ 営/9:00~18:00 休/無休 ☎0894-82-1100</p>	<p>道の駅 日吉夢産地 営/8:00~17:30 休/無休 ☎0895-44-2340</p>	<p>道の駅 よって西土佐 営/7:30~18:00 休/無休 ☎0880-52-1398</p>	<p>道の駅 虹の森公園まつの 営/8:30~17:30 休/無休 ☎0895-20-5006</p>	<p>道の駅 広見森の三角ぼうし 営/8:00~17:30 休/月曜(祝日の場合は営業) ☎0895-45-3751</p>	<p>道の駅 みま 営/9:00~18:00 休/無休 ☎0895-58-1122</p>	<p>道の駅 四万十とおわ 営/8:30~17:00 休/無休 ☎0880-28-5421</p>
---	--	--	---	---	--	---	---

**主催:奥伊予街道七駅物語事業推進協議会** お問い合わせ先 ☎0894-82-1100 奥伊予街道七駅物語事務局(きなはい屋しろかわ内)



# ROOMSNAP

お部屋探訪

**#01** 西条市でお庭の設計、施工をされている「C-PLANTS」さんのカフェにお邪魔しました。長谷部久人建築設計事務所さんの設計でお庭のある暮らしの良さを体感できます。



c.plants café 西条市実報寺乙192-8 0898-66-0008 13:00~17:00 月・火曜休

**Here!**

マチボン編集スタッフ  
渡部

マチボン編集部6年目。面白いものと美味しいものに貪欲。そろそろ家づくりにも興味を持ち始めている。

# flower & green NOW! #01

植物の力で豊かに美しく生きる

**Deux**

松山市大街道 2-5-9 久保ビル1F  
電話 / 089-933-6116  
営業時間 / 11:00~19:00  
定休日 / 無休  
@deux\_fleuriste

Deuxさんに並ぶ花は色も香りもとても豊かです。店内は華やかな色からモーキーな色まで、ナチュラルな花や枝物がセンスよくレイアウトされています。お花を贈りたい時はDeuxさんのアレンジメントを。私も過去に何度かいただいたことがあります。どの時も花の記憶とともに思い出されます。いつも信頼できるお花屋さんです。

**茶寮 平野屋**

大洲市大洲 394-1  
電話 / 089-933-5630  
定休日 / 火・水・木曜  
@saryou\_hiranoya

ロサ大洲店と同じ長屋にあるひらのやさん。本店はもちもちのしぐれが美味しい大洲老舗の和菓子店です。茶寮ではわらび餅も夏限定のあんみつも絶品ですが、今夏から始められたかき氷もぜひ。ひらのやさんの優しい甘さの小豆と上質な抹茶の宇治金時は大人の味です。落ち着いた店内で季節を感じながら上座菓子をおいしくいただきます。

**工芸 ロサ**

松山市大街道 3-8-11  
電話 / 089-993-5608  
営業時間 / 11:00~17:00  
定休日 / 火曜

ピンクローズ&カモミールの和紅茶/ハーブと茉莉花の水出しブレンド。hibihanakusaのお茶は草花の効能をたっぷりと感じたブレンド茶です。気分が優れない時や疲労が溜まったときなど、暮らしのお手当てに。和紙に染められたステンシルのポストカードを添えて贈り物にするのもおすすめです。どちらも季節が変わります。

今回選んでくれた人  
**工芸ロサ 店主 門田真記子さん**

店主自らが作り手さんより直接仕入れ、厳選された丁寧な手仕事の品々が並ぶ。ローブウェー街と大洲に店舗を構える。

**マチボン不動産**  
MACHIBON REAL ESTATE

**#01** **HERE!**

場所	住吉1
価格	相談
広さ	1階38㎡、2階42㎡

使い方は、あなた次第！昭和の Snackbar がそのまま残る小さな2階建てビル。

商店街そばにある小さな2階建てビルは、もともと1階が飲食店、2階がスナックとして営業。スナックは当時の装飾が残されており古き良き昭和を感じるノスタルジックな空間です。ただ、水道・ガス・電気等はやりかえが必要で借主さんの負担。家賃要相談。

問い合わせ ミツハマル 080-4154-3696

**GOOD FOODS!**

**#01**

**ブラッドオレンジのチーズケーキ**  
Story of cheesecake / 松山市

地元愛媛の食材にこだわったチーズケーキ。相模一筋100年以上の歴史を誇る愛媛県「寺尾果樹園」で作られたブラッドオレンジをふんだんに使用しています。チーズケーキはずっしり濃厚な味わい。ブラッドオレンジ特有の酸味がクリーミーさをより引き立て、爽やかな後口がたまりません。ワインやウイスキーのお供にもオススメです。

マチボンECスタッフ ヤマちゃん  
愛媛のいいものを取り扱っているマチボンのECショップ。贈って喜ばれる、いただいて嬉しい商品の数々。ぜひチェックしてみてください。

**#01 local design**

**FUJIWO ISHIMOTO**  
フレーム付ポスター

税込 ¥41,800  
松山市 / Mustakivi

石本藤雄氏の手がけた花のレリーフ作品を、等倍サイズで印刷したアートポスター(フレーム付き)。一家に一枚、いや2枚。陶の花で暮らしに彩を添えませんか。

マチボン編集スタッフ ノリヲ  
おもしろいヒト・モノ・コトを探しながら日々、愛媛県内をうろついています。最近ではデスクで植物を育てることに奮闘中。

のっけから無くなった店の話題で申し訳ないが、今の家に引っ越して以来、ずっと重宝してきた小さな精肉店が、なんの前触れもなく突然閉店した。昨年末のことだ。

強烈な寒波がやってくると知り、クジラが食べるくらい大量のおでんを仕込むことにした。12月27日か28日か、そんなタイミングだったはずだ。会計をしながら「年内はいつまでですか?」と、ほくほく主人になにげなく訊ねた。

**小商いについて**  
語るべき ① 僕が語ること

「大晦日まで。肉が切れたら早仕舞いするかも」「へえ、けっこうギリギリまでなんですね」と、他愛ないやりとりをした。年が明けると東京に出張したり、めずらしく多忙だったせいで、気がついたのは1月末のことだった。それは平日の午後で、いつもなら下りているはずのないシャッターが目に入った。張りつけられた紙には「昨年末で閉店」。果然と立ち尽きた。あの日が最後だったとは……。肉は常に新鮮で、値段は超がつくほど良心的。作りたて料理にあわせて、自由に切り分けられる精肉店が近所にひとつあることが、どれだけ日々の生活を豊かにしてくれたか。ただ、いっつどなふに商売を畳むかも、小商いでは店主の自由。いつまでもあると思うな、小商い——あらためてぼくは肝に命じた。

TEXT & DESIGN BY 水本アキラ

**#01** **地元の味な店**

街の魅力を伝えるには、まず食堂から。

永く続くには理由がある。

**食堂**

この子だれ?

マチボン編集長 松下亮介  
Mr.マチボン。昭和48年兵庫県明石市生まれ、サバル育ちの49歳。昭和な男です。

八幡浜市保内町から国道197号線沿い、伊方町への入口となる大峠トンネルを抜けると、すぐ右手に伊方町で40年ほど続く老舗、マルマ食堂が。入口のガラスケースに並ぶ一品メニューをはじめ、どれも美味しいが僕はちゃんぽん大盛り一択です。オジさんだけでなく、若い女の子も食堂。民芸や手仕事、喫茶の次は是非お試しを。

**マチボン編集部がマジで行きたい!**

**8月のイベント**

夕焼けモノローグ  
2023年8月26日(土)  
@愛媛・内子座

夏の終わりに、雰囲気ある内子座にて「大橋トリオ / 伊澤一葉 / 吉澤嘉代子」三組によるライブが開催されるそう!これはエモい。

出演: 大橋トリオ / 伊澤一葉 / 吉澤嘉代子

お問い合わせ  
主催/企画制作: Cow and Mouse  
cowandmouse489@gmail.com

**あとがき**

SNSでのライフスタイルや丁寧な暮らし発信とか、そろそろ疲れてませんか?自分が好きなら、それで良いっすよね。今回のマチボンジャーナルを通じて、程よく力の抜けた愛媛暮らしの楽しみなど感じて頂けたら幸いです。それではまた、次号でお会いしましょう!

editor in chief 松下亮介  
marketing staff 森本真緒理 越知義彦 渡部美紗 白石卓巳 池川東吾 岡本悠輝 西谷夢花 田中幸奈  
editor 和氣敬憲 高須美登里 李夏媛 西谷里佳  
designer 土居麻巴香 林真央 藤野貴大 田中俊衣  
webstaff 山本祥弘 大野高史

contributor 阿部美枝子 門田真記子 國貞誠 武智俊介 田中優一 土岐祐生 徳丸哲也 丹生谷千聡 ハタノエリ 本田亜由美 ミズモトアキラ  
cover illustration アイハラチツサ

愛媛デザイナーズハウス マチボン

H P Instagram Youtube H P Instagram SHOP

今行きたいのは、こんな店や場所